

33名の新組合員獲得！

日刊 動労千葉

80.4.9

NO. 398

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
 (鉄電)二二五八九・(公衆)三三三二二七二〇七

「本部」反動分子の妨害けって 若い仲間が動労千葉へ結集

八〇年代に通用する自前の労働運動創造へむけて、結成二年目に突入した動労千葉は、三・三一佐倉支部結成の余勢をかって、一九八〇年度新規採用者獲得の闘いへ猛然と突入した。三月三十一日を期して、新採獲得・組織拡大にもえる全支部は県内くまなく行動を展開した。こうした新採獲得闘争の成果は、昨秋からの事前の取組みの行動の成果と結合し、運転職場(貨車区関係六名除く)の新採配属数四五名中三三名を動労千葉に獲得したのである。この闘いの成果は、単に、動労千葉の次代をになう若い仲間を獲得するということにとどまらず、動労千葉が掲げる国鉄三五万人体制合理化粉碎と結合した三里塚・ジェット闘争貫徹をもって八〇年代労働運動の戦闘的再生の一環としての動労大改革をめざす運動的・路線的正しさを立証したものである。そして、労働運動の一線を踏みはずし、労働者の利益を権力・当局に売り渡し、唯一セクト的利益のために動労千葉破壊を策した「本部」反動分子との一年余にわたる組織攻防戦に、動労千葉が勝利し組織的前進をかちとっている現実を歴然と示したことである。

新採獲得をバネに三里塚 反合春闘、四月決戦へ

われわれは、新採獲得と佐倉支部結成という二つの成果をバネに、いよいよ八〇春闘四月決戦へと突入する。

動労千葉は、すでに八〇春闘を闘うに当たって、

第一に、三里塚を闘う八〇春闘。
 第二に、三五万人体制粉碎Ⅱ反合闘争を貫徹する八〇春闘。

第三に、動労大改革Ⅰ労働運動の戦闘的再生を目指す八〇春闘。の三つの視点を確立し闘ってきた。

日刊(三九七号)で既報の通り、動労千葉の闘う路線は確実に前進している。

全組合員の皆さん。

八〇春闘の爆発を通し、大巾賃上げ獲得、国鉄三五万人体制攻撃粉碎の突破口を築こう。闘いの爆発をもって「本部」反動分子の「乗務員運用合理化」六月妥結策動を粉碎しよう。



↑「若い諸君の力に期待する……」
 中野書記長から歓迎のあいさつ。

新組合員の歓迎会は、動力車会館において4月2日と4日の2日間にわけて行われた。

↓やや緊張ぎみか？フレッシュメン。



1980年度運転職場新採獲得状況

支部名	配属数		動労千葉	国労
	予科	一般		
新小岩		1	1	
蘇我		1	1	
佐倉	7	1	8	
木更津	4		4	
津田沼	3	1	1	3
幕張	20	1	13	8
勝浦		1	1	
千葉転		1		1
館山		1	1	
成田	1	1	2	
銚子		1	1	
合計	35	10	33	12

動労千葉への結集率七三・三%